

SCCJ東京支部 第27回・第28回「研究会」のご案内

本研究会は若手化粧品技術者を対象に、化粧品のモノ作りに関わるテーマを取り上げ、参加者と講師及び参加者同志で、お互いの意見交換・討論を通して技術向上と技術者間の交流を図っております。

化粧品技術者としての基本技術を身につけるべく、一昨年のテーマ『基本に返って乳化技術を学ぶ』及び昨年のメインテーマ『分散技術の基本を学ぶ』に引き続き、『洗浄の基本を学ぶ』として、広く洗浄の理論や肌・毛髪の洗浄製品の製造技術の基礎について学んでいきたいと思っております。今年度は第27回・第28回について同時にご案内・募集し、興味のある分野の回に応募頂きます。昨年の「研究会」募集の状況から、多数の応募申込が予想されますが、本会の趣旨をご理解頂き、参加者自身が意見交換・討論に参画いただけますよう、応募の際には必ず「意見交換したい内容」について記載頂きますようお願い致します。

本研究会は35歳未満の若手・中堅の方を対象にしておりますので、あらかじめご了承下さい（正会員の方は是非、若手の代理者を参加させて頂きますようご案内申し上げます）

記

- 日時： 第27回； 9月28日(火) 13:30～17:35
第28回； 12月 8日(水) 13:30～17:35
*いずれも受付開始 13:00～
- 場所： 化成品会館3F会議室(港区六本木) 会場略図参照
- プログラム メインテーマ：『洗浄の基本を学ぶ』

<プログラム>

	テーマ	講師(敬称略)	時間
第27回 (9/28)	開会の挨拶とガイダンス	学術部会B委員	13:30-13:35
	総論:洗浄の理論(界面化学としての洗浄)	田村隆光(ライオン)	13:35-14:35
	各論① 皮膚の洗浄(洗顔製品)	酒井祐二(ポーラ)	14:35-15:20
	各論② 皮膚の洗浄(メイク落とし製品)	伊藤利之(コーセー)	15:20-16:05
	グループ討論		16:20-17:35
第28回 (12/8)	開会の挨拶とガイダンス	学術部会B委員	13:30-13:35
	総論:洗浄の理論(界面化学としての洗浄)	田村隆光(ライオン)	13:35-14:35
	各論③ 皮膚の洗浄(ボディ製品)	宮木 正廣(花王)	14:35-15:20
	各論④ 毛髪の洗浄 (シャンプー・コンディショナー)	山下貴弘(資生堂)	15:20-16:05
	グループ討論		16:20-17:35

*グループ討論終了後、同会場にて交流会を行います(17:40～18:40)
(研究会の一環としての交流の場ですので、併せてご予約下さい)

<各テーマの講演概要>

	テーマ(仮) 講師(敬称略)	講演概要
第27回 (9/28)	総論:洗淨の理論 (界面化学としての洗淨) 田村隆光(ライオン)	洗淨は様々な表面に付着した複合汚れを、界面活性剤の濡れ、可溶化、乳化、分散などの機能を利用して除去するものである。化粧品分野では、皮膚や毛髪に付着した汚れが対象となることから、低刺激の洗淨技術が開発されてきた。しかしながら、硬表面の洗淨まで視野を拡大すると、洗淨技術も大きく変化する。目に見えるマクロな汚れの除去には、界面化学的な洗淨理論が適用されるが、ナノレベルの汚れの残留が問題となる精密洗淨剤では、化学反応を用いた洗淨を考えることとなる。本講では、汚れのサイズからみた洗淨技術を概説し、衣類や皮膚の洗淨から半導体精密洗淨にかけての応用事例を紹介する。
	各論① 皮膚の洗淨 (洗顔製品) 酒井祐二(ポーラ)	洗顔料は、顔に使用するため、他の洗淨料と比較して、高い安全性が求められる。また顔は他の部位より皮脂が多いため、高い洗淨機能も同時に必要である。加えて、洗顔方法によりその機能、安全性が左右されるため、正しいあるいは効果的な洗顔方法も大切である。 これらは、その主成分である界面活性剤の影響が大きい。 そこで本講演では、界面活性剤の特性をベースに、「皮膚の洗淨」について言及する。
	各論② 皮膚の洗淨 (メイク落とし製品) 伊藤利之(コーセー)	メイクアップ製品の多機能化(SPF表示、ウォータープルーフ効果など)や、消費者のニーズの多様化(簡便性、使用シーン)に伴い、クレンジング製品も様々なタイプのものが開発されている。本講演では、クレンジング製品全般について市場動向や各種剤型の特性と製剤技術について概説する。
第28回 (12/8)	総論:洗淨の理論 (界面化学としての洗淨) 田村隆光(ライオン)	第27回(9/28)と同内容
	各論③ 皮膚の洗淨 (ボディ製品) 宮木 正廣(花王)	近年、低刺激性や保湿効果などの機能を付加したスキンケア訴求の皮膚洗淨剤が開発されている。 本講演では、洗淨剤の皮膚に対する影響やその評価法を概説し、スキンケア洗淨剤の技術を紹介する。
	各論④ 毛髪の洗淨 (シャンプー・コンディショナー) 山下貴弘(資生堂)	毛髪に使用する化粧品のなかで洗淨の役割を担うシャンプーと洗淨後の毛髪のケアをするコンディショナーについて解説します。 研究開発における基本的な技術や、配慮する点などを中心に、実際の開発事例も含めて紹介します。

4. 申込方法とお願い

- 1) 別紙の「参加申込書」にて、事務局までFAXしてください。
- 2) 申込者対象
 - ・ 商品開発・研究・製造など実務に携わっている35歳未満の会員が対象です。
 - ・ 準会員の方は、ご本人は参加できますが、代理者はたてられません。
 - ・ 正会員の方で35歳未満の方は参加可能です、また代理者も可能です。
 - ・ 35歳以上の正会員の方は代理の方の参加が可能です。

- 3) 募集人員:第27回・第28回とも各50名
- 4) 参加費:3,000円(当日徴収、領収書発行)
- 5) 申込締切日:9月15日(水)

ただし、定員になり次第締切り(先着申込順)とさせていただきますので、お早めに申込下さい。参加証は9月15日(水)迄に、折り返しFAXにてご連絡いたします。

* 定員になった場合はホームページ上でお知らせします、申込の際はご確認ください。

ホームページ: <http://www.sccj-ifsc.com/>

※ 申込は第27回・第28回のいずれかを選択下さい(重複の申込はできません)

申込の際は、「研究会」の趣旨をご理解頂き、必ず「当日意見交換したい内容」について記載下さい(記載がない場合は、原則として参加をお断りさせていただきます)

※ お申込後に、ご都合が悪くなった場合は、早めに事務局までご連絡下さい。

「お問合せ先」 〒106-0032 東京都港区六本木5-18-17 化成品会館4F
 日本化粧品技術者会東京支部 事務局
 TEL:03-3586-0775 FAX:03-3586-0833
 E-mail:toukagi@jade.dti.ne.jp

以上

《会場略図》(化成品会館3F 会議室) 会場は東京支部事務局の入居している会館です。



